

国語科年間指導計画

第4学年

学習目標

- (1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気をつけて聞くことができるようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる。
- (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

授業の工夫

日々の生活の中で、「話すこと、聞くこと」を大切にさせ、しっかり聞き合う授業を心がけたいと思います。考えたことや思ったことを言葉で表すことができるよう、話したり書いたりすることを多く取り入れるとともに、漢字学習を繰り返し練習します。また、図書室を活用し、幅広く読書させたいと思います。

年間授業計画

月	単元名	時数
4	1. 人物の気持ちを想ぞうしながら声に出して読もう 毛筆で書こう	22
5	2. 出来事をしょうかいするスピーチをしよう 画の長さ	28
6	3. 段落と段落の結び付きを考えながら読もう 画の方向	23
7	4. 物語のもり上がりを考えながら読もう	13
9	5. すじ道を立てて説明しよう 筆順と字形	22
10	6. 愛の心をえがいた物語を読もう 筆順と字形	21
11	7. いろいろな環境を守るくふうについて調べよう 組み立て方	24
12	8. 中心をはっきりさせて書こう 筆使い	19
1	9. くらしの中の世界について話し合おう 書き初めをしよう	26
2	10. 人物の気持ちの移り変わりを考えよう まとめ	21
3	11. 伝えたいことを選んで書こう	16
年間授業時数		235

〔評価の観点〕

【国語への関心・意欲・態度】

国語に対する関心を持ち、進んで話し合ったり適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようとする。

【話す・聞く能力】

相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気をつけて聞いたりする。

【書く能力】

相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書く。

【読む能力】

目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。

【言語についての知識・理解・技能】

音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では、文字の大きさ、配列、毛筆では点画の接し方、交わり方、方向、文字の組み立て方などを理解して文字を正しく書く。

〔評価の方法〕

単元ごとのテスト・小テスト・書写作品・ノートなどを中心に、宿題や学習態度や発表など、普段の学習の様子を加味して評価をします。